

地絡故障点を確実に表示

地絡点表示器 <G・ファイnder[®]>

G・ファイnder[®]は、雷による故障だけでなく鳥獣害等の地絡故障も検出します。また、故障電流で動作するため電源を必要とせず、故障鉄塔のみ表示することで、地絡鉄塔の早期発見に絶大な効果を発揮します。

特徴

1. 500kV以下の送電線に取り付け可能(多回線も可)
2. 地絡電流の位相で故障を検出
3. 無電源
4. 活線中でも、取り付け、取り替え可能
5. 地上より動作確認可能
6. 動作後は表示部のみの取り替え
7. 点検調整不要

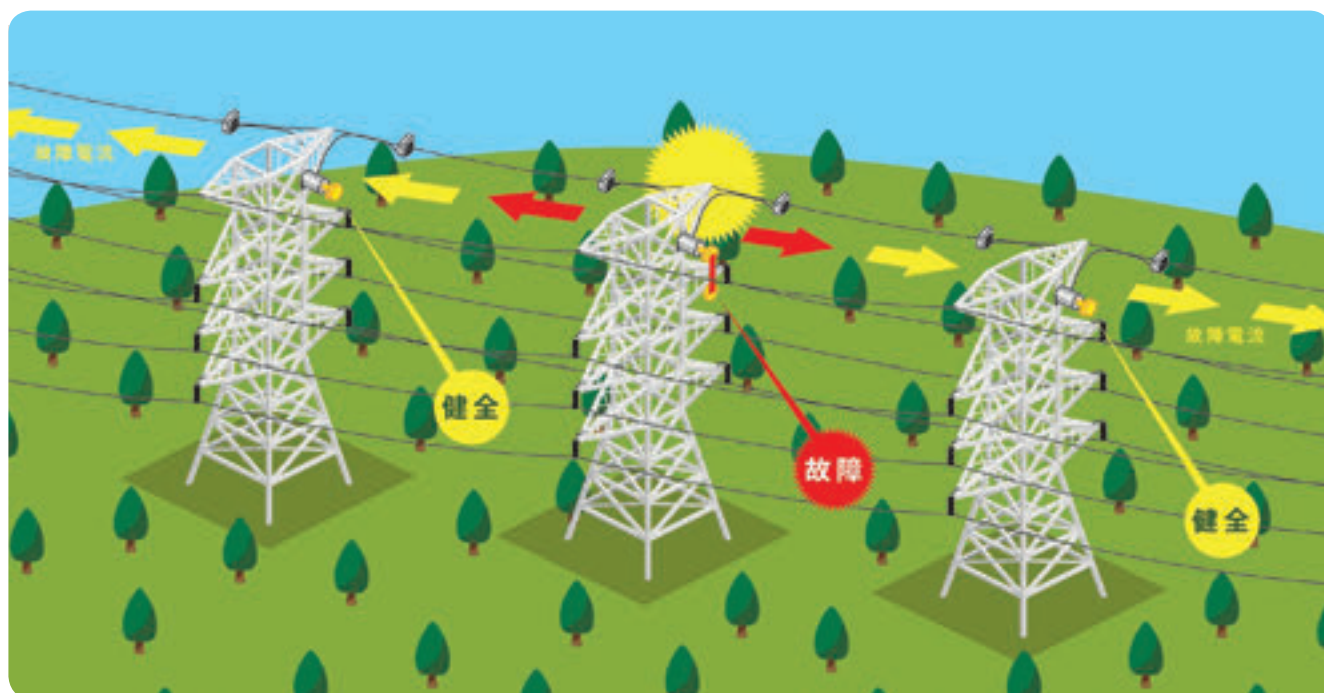


動作原理 (G15H型)

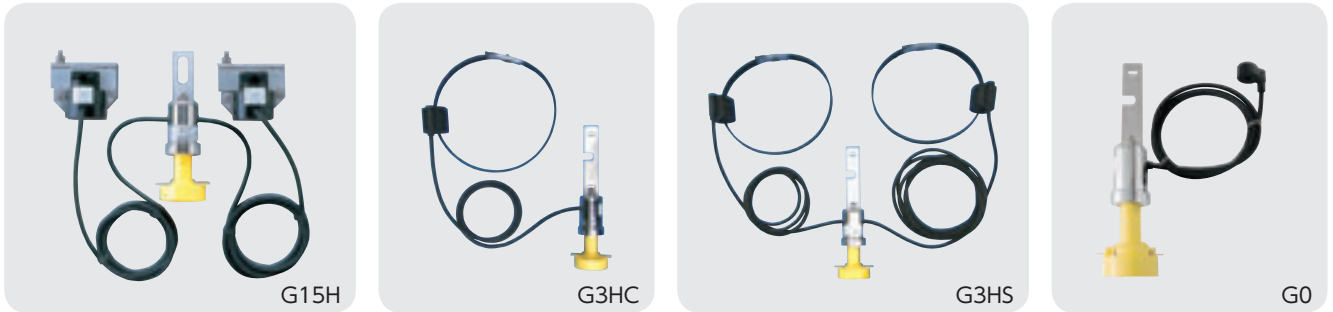
鉄塔を挟んで架空地線に取り付けた検出コイル部で、地絡電流を検出します。地絡故障が発生した場合、架空地線に故障電流が分流します。この電流の位相差を検出することにより故障鉄塔のみを標定します。

一般に位相検出はIC回路と電源が必要ですが、無電源を実現したことによりメンテナンスの必要がありません。

架空地線のない線路では、G3HC・G3HS・G0型で対応できます。



型式

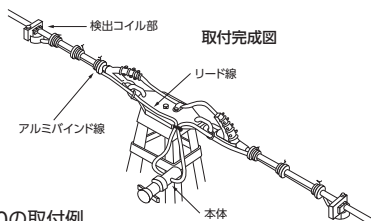


分岐鉄塔にはG15TH (3方向)、G15X (4方向)があります。

型式別仕様




型式	系統	架空地線数	系統最大地絡電流	動作条件	
G15H	抵抗接地系統	1条	100A以上	30A以上	3サイクル以上
		2条	200A以上		
G15TH	抵抗接地系統	1条	100A以上	40A以上	3サイクル以上
		2条	200A以上		
G15X	抵抗接地系統	1条	200A以上	85A以上	3サイクル以上
		2条	400A以上		
G50	直接接地系統	1条~3条	—	1kA以上	2サイクル以上
G3HC	抵抗接地系統	なし	100A以上	5A以上	15サイクル以上
G3HS	抵抗接地系統	なし	100A以上	10A(5A+5A)以上	12サイクル以上
G0	非接地系統	なし	線路こう長4km以上	0.5A以上	36サイクル以上

取付概略図



※G15H,G50の取付例

付属品

- ゴムホルダー(大)  ……2個
- ゴムホルダー(小)  ……6個
- アルミバインド線(φ3.2×1m)  ……3本
- M10Uナット……2個
- M16平ワッシャー……1個

※型式・リード線長により入り数が変わります(上記: G15H, リード線 2m)

表示部

- F型表示部
- FR型表示部

有効期限

G・ファインダー®の有効期限は、本体10年、F型表示部5年、FR型表示部10年です。